



Rotary

国際ロータリー第2650地区
奈良大宮ロータリークラブ





PROGRAM

記念式典 16:30 ~ 17:30 於：奈良県コンベンションセンター 天平ホール

司会 平方 貴之 古塩 篤代

1. 45年の歩み放映

2. 開会点鐘

会 長 植村 将史

3. 国歌斉唱

奈良大宮ロータリークラブの歌斉唱 ソング委員会 辻本 和久

4. 来賓紹介

会 長 植村 将史

5. 会長挨拶

6. 来賓祝辞

奈良市長 仲川 げん 様

国際ロータリー第2650地区ガバナー 中野 博美 様

7. インターアクトクラブ挨拶

奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ 芝崎 もも

上田 真衣

8. 祝電披露

司 会 平方 貴之

9. 記念事業報告

記念事業部会 清岡 義教

10. 実行委員長挨拶

創立45周年記念実行委員長 富川 悟

11. 閉会店鐘

会 長 植村 将史

記念祝賀会 18:00 ~ 20:00

於：JW マリオット・ホテル奈良

司会 塚本 勝 古塩 篤代

1. 会長挨拶

2. 来賓祝辞

奈良県知事 山下 真 様

3. 乾杯

奈良第一グループ ガバナー補佐 大方 豊 様

4. 姉妹・友好クラブ祝辞

太宰府ロータリークラブ 会長 影山 祐樹 様

東京恵比寿ロータリークラブ 会長 古屋 公啓 様

ミラニサンライズロータリークラブ Club President Kathy Lum 様

5. お礼の言葉

バストガバナー 北河原 公敬

6. 手に手つないで



奈良大宮ロータリークラブ会長

植村 将史

ただいまご紹介いただきました奈良大宮ロータリークラブ会長の植村でございます。

奈良大宮ロータリークラブ創立45周年記念式典を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和6年辰年は波乱の幕開けとなりました。元日早々から連続して災害、事故が起こっております。お亡くなりになられた方もたくさんおられ、改めてご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様方にはお見舞い申し上げます。

本日、ここ奈良県コンベンションセンター天平ホールにおきまして記念式典を開催いたしましたところ、奈良市長仲川げん様、国際ロータリー第2650地区ガバナー中野博美様をはじめとするパストガバナーの皆様、ガバナーエレクト、中本勝様、奈良地区ガバナー補佐大方様、吉田様、また県内ロータリークラブの会長幹事の皆様、そして姉妹友好クラブの太宰府ロータリークラブ、東京恵比寿ロータリークラブ、遠路はるばるミリラニサンライズロータリークラブの皆様、お忙しい中多数の方にご臨席賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。また本日は日頃広報活動等で大変お世話になっておりますNHK奈良放送局山下局長、株式会社奈良新聞社田中社長、奈良テレビ放送株式会社松永営業局長、ご臨席いただきありがとうございます。高いところからでございますが、この場をお借りしてお礼申し上げます。最後になりますが、本日はインターアクト設立校でございます、奈良女子大学附属中等教育学校校長の吉田隆様にもご臨席いただいております。ありがとうございます。

さて、奈良大宮ロータリークラブは先ほど飯田会員が申しました通り、奈良ロータリークラブを親クラブとして、45年前のまさに今日1月23日に産声をあげました。同3月1日にRI加盟承認、同5月15日に認証伝達式を行いました。創立時のチャーターメンバーは22名、現在も飯田会員、中條会員、2名のチャーターメンバーが在籍しており、例会にも元気に参加していただいております。

現在、名誉会員3名を含む会員66名で、最年長は平野会員の94歳、最年少は中谷会員の

38歳、平均年齢は60.59歳と幅広い年齢層で構成されており日々奉仕活動に力を入れているところでございます。

クラブ45年間の歩みにつきましては、先の映像にてご覧いただいておりますが、2014-15年度に当クラブとして初めて北河原ガバナーを輩出し、多くの会員が地区に出向きました。そしてロータリーのことを多く学んだことはクラブとしてはとても重要な事項と認識しております。その後、2018-19年度に40周年記念として、奈良女子大学附属中等教育学校にインターアクトクラブを設立いたしました。これにつきましても後ほどインターアクトクラブメンバーより事業報告がございます。

今年度創立45周年記念事業といたしましては、昨年9月7日、奈良女子大学を会場にして奈良市出身の俳優八嶋智人さんを講師に招き「人生百年時代、君たちはどう生きる？」をテーマにした講演会、パネルディスカッションを開催いたしました。また同年11月9日には、なら百年会館にて奈良女子大学附属中等教育学校、この校内への地区防災倉庫の設置にちなみ、気象予報士の防災士でもある、正木明さんを講師として「迫りくる気候危機！私たちがやるべきこと」をテーマにした講演会、パネルディスカッションを開催いたしました。こちらにつきましても、後ほど事業報告がございます。

最後になりましたが、奈良大宮ロータリークラブは、次の50周年に向け躍進してまいります。本年度の会長方針は「温故知新 リボーン！」でございます。今、ロータリークラブは時代に即して変革しなければいけないという声を耳にいたしますが、変えるべきことは勇気を持って挑戦しなければなりません。ところが変えてはならないことも絶対にあると思いますので、それは守り続けていかなくてはいけないというふうに思っております。伝統を守りつつ、次の世代に向け進んでいきたいと思っております。皆様方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。再度、本日ご臨席賜りました皆様にご心よりお礼をお申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

祝 辞



奈良県知事
山下 真

奈良大宮ロータリークラブの皆様、創立45周年、誠におめでとうございます。45年間ずっと続けるというのは、本当にいろんなご苦勞があったことと思います。私、生駒の市長をしていた時に生駒ロータリークラブの名誉会員という称号を与えられまして、年に数回は行かせて頂きましたが、皆さんはお仕事を持ちながら週に一回必ず出席をするというのは、なかなか簡単なことではないというふうに、その時思いました。

しかし、生駒のロータリークラブもそうでしたけれども、本当にどのロータリークラブも、青少年の健全育成等の活動に、本当に多大な貢献をしていただきまして、生駒市でも大変ロータリアンの皆様にお世話になりました。奈良大宮ロータリークラブは、はるかに規模も大きくて、これまで様々な活動を続けて

こられたと思います。本当に皆さん、本業の方もお忙しいとは思いますが、企業経営者の皆様がこうやって社会貢献活動をしていただくということは、我々行政に携わる者としても大変にありがたく、また頼りにしているところでございます。

引き続き奈良大宮ロータリークラブの活動をますます発展をさせていただきまして、共により良き奈良市、よりよき奈良県を作るために邁進していきたいと思っております。

本日は誠におめでとうございます。





奈良市長
仲川 げん

ただいまご紹介を賜りました地元奈良市長の仲川げんでございます。地元も地元、向かいからやってまいりましたので、歩いて来られる大宮町の市役所からやって参りました。この度、奈良大宮ロータリークラブ様が45周年という大きな区切りの年を迎えられたということをお心よりお祝い申し上げます。

あと5年で半世紀ということがございますので、私は今47歳でございますから、2歳の頃から活動されていたということがございます。これまでの歴代会長の皆様方、そして会員やご家族の皆様方、多くの方々地域社会のより良い進歩のために、それぞれの立場で、またご職業の専門性を生かしながら、地域と関わり合いながらこの45年の歴史を歩んでこられたことに心より敬意を表します。

私個人的には特に印象に残っておりますのは労働に学ぶという、三笠中学校の子供さんたちが対象であったかと思いますが、いろいろ形を変えながらも、地域の方々にもご協力をいただいて中学生が職場体験する。最近では全国的にも取り組まれていると思いますけれども、子供たちがこれからの自分の職業観に身につけるといことは、非常に大きな財産になることかと思っております。当時学生として関わっていた子供さんたちが、もう今は立派な大人になられて教える側に回られているという方も、中にはおられるのかなという風に思っています。そういった意味では45年という時の流れは、大きな社会の変化につながっていると感じます。

私は一昨日まで3日ほど中国の友好都市の西安に行っておりました。ちょうど友好都市50年ということで、50年前に横浜、そして神戸に続きまして、国内3番目の友好都市を中国と結んだわけでありまして。コロナの前にもお邪魔したことがあったのですが、本当に街中は電気自動車が30%、そして、現金どころかクレジットカードが使えないということで、すべてQRコードの決済

しか使えないということで、かなりデジタル社会が一般レベルにも浸透しているという大きな変化を目の当たりにしました。我々を案内してくれた公務員の方も、この10年間で給料が3倍になったと言っておられました。計算をしますと、我々の市の職員と、あまり変わらないような水準まで変わってきております。

そういった意味では日本に閉じこもっている、もしくはメディアから入ってくる情報だけを見てみると、あまり大きな変化を感じない部分がございますけれども、実はその地下水脈の中で大きな変化が起きている。これは日本の中でも同じかと思っております。我々が日常生活を営む中では、あまり変化を感じられないかもしれませんが、社会の片隅では、変化の中で苦しんでおられる方、また可能性を持ちながらもその芽を摘まれている方、いろんな方々がおられることかと思っております。こういう広域活動、奉仕活動というのは、もちろん行政が中心となってしっかりと支えるべきものでありながらも、この我々の今生きているこの地球上の、すべての人たちにとって関わり合いがあるって事と、皆さんが我が事感を持っていただいて、ご自身ができるさまざまな社会を良くする取り組みに日夜献身的に取り組んでいただいていることは大変素晴らしいことかと存じます。子供たちもそういった立派な皆様方の背中を見て、育つ事かと思っておりますので、これからの次の50年に向けても大きな活動が期待をされるところでございます。

今回45年の記念式典や記念行事様々ご用意されていることかと存じます。今、社会情勢としては大変困難の時期でもございますけれども、こういった時だからこそ、奈良大宮ロータリーここにありと大きな存在感を発揮していただければ、そのことを心よりご期待を申し上げ、そしてますますの奈良大宮ロータリークラブ様のご発展を心より祈念をいたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

祝 辞



国際ロータリー第 2650 地区ガバナー

中野 博美

国際ロータリー第 2650 地区 2023-24 年度ガバナー中野博美と申します。まずは奈良大宮ロータリークラブ様、創立 45 周年誠におめでとうございます。植村会長をはじめ、会員お一人お一人にお祝いを申し上げたいと思います。奈良大宮ロータリークラブ様は先ほど会長がおっしゃったように 1979 年 1 月 23 日まさに本日、創立をされました。40 周年の折には北河原公敬ガバナーを輩出されまして、2650 地区における立場を明確にされた。その後も会長がおっしゃったように隆盛を誇っておられます。さて今年も、フロリダのオーランドにおいて国際協議会が行われました。中川ファシリテータ、中本ガバナーエレクト、本当にお疲れ様でございました。アーチック会長エレクトが今年のテーマをおっしゃったということですが、「ロータリーのマジック」というテーマを掲げられておられます。ドミニカ共和国に赴かれて、汚れたお水をきれいにする浄水器の設置活動に携わったときに、汚れたお水を浄水器に入れて綺麗なお水が出てきた。その事を地元の少年が見ていて「もう一回そのマジックをやってほしい」というふうに言われたことからヒントを得たというふうにおっしゃったそうでもあります。

というのも、何も浄水器が魔法の杖という訳では無いが「その少年たちの未来に対してロータリーが力を発揮するのである。力を示すのである」ということの思いを込めて、「ロータリーのマジック」というテーマを考えたということでもあります。世界中にいらっしゃるロータリアンお一人お一人が、次世代の未来に対し、あるいは世界の平和に対し、まさにロータリーの力を示す時ではないでしょうか？そういう意味におきまして、奈良大宮ロータリークラブ様も 45 周年を機に、また前進をされ、50 年、100 年と歩まれて、ロータリーの次世代の、あるいは平和に向かって、ロータリーのこの力を示していただきたいと思います。意は尽くしておりますが、これをもって私の挨拶とさせていただきます。本当に本日はおめでとうございます。



大宰府ロータリークラブ会長
影山 祐樹

ただいま紹介いただきました、太宰府ロータリークラブの影山と申します。本日は奈良大宮ロータリークラブの皆さん、創立45周年おめでとうございます。私ども太宰府クラブと奈良大宮クラブさんは、歴史文化の地という、同じような土地柄、共通性で友好クラブのお付き合いが始まったと私は聞いております。太宰府と言いますと、菅原道真公や太宰府天満宮ということで、皆さんご存知と思いますが、平安京とか京都の文化というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、そもそも太宰府は白村江の戦いの後、太宰府政庁ができて、こちらの平城京、奈良時代を通して、九州の行政や文化の拠点として発展をしております。そういうわけで、この奈良と太宰府という町は、その成り立ちから、姉妹都市のような関係だったのではないかと私は思っております。私は、こちらの奈良大宮クラブさんには友好クラブの交流を通して、今まで何回もお伺いしておりますが、その都度大変歓迎をしていただいております。いつも本当ありがとうございます。私は初めてお伺いしたのは、15年前奈良大宮さんの30周年の時だったのですが、その時も大変盛大な式でございました。

また翌日は親睦のゴルフ会をセッティングしていただきました。その時、あるベテラン会員の方と一緒させていただきました、その会員の方が古酒と言いますか、日本酒の原酒を持っておいでになられまして、ラウンドの間、何回か勧めていただきました。当時、私も若うございまして、先輩からお酒を勧められてお断りするということを知りませんでしたので、ちょっと調子に乗らせていただきまして、後半のハーフはティーアップしたボールが、二重に見えるような状態でプレーをさせていただき、やっとの思いでホールアウトできたということ覚えております。ここ数年は、コロナによって友好クラブの交流が少し中断しておりました。今日のこの45周年の式典を機に、またいろいろな意味で、思い出に残るような交流が再開できたらと思っています。最後に奈良大宮クラブさんの今後ますますの発展を祈念申し上げまして、私からのお祝いのご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

祝 辞



東京恵比寿ロータリークラブ会長

古屋 公啓

皆様こんばんは。ただいまご紹介に預かりました、東京恵比寿ロータリークラブ会長の古屋公啓と申します。本日はまさに、あおによし奈良の都に咲く花の奈良大宮ロータリークラブ創立45周年記念、誠におめでとうございます。私たち東京恵比寿ロータリークラブは約20年前に友好クラブとして、当時の会長北河原公敬様よりご縁を頂戴致しまして、お付き合いをさせていただきました。交換卓話そして東大寺のお水取りと多くは2月の時期にお邪魔し、また春頃にお越しいただくということでずっと20年間、皆様と共にロータリー活動をしてまいりましたが、45周年、本当に先ほどの記念式典で素晴らしい記念事業の内容を拝見いたしまして、歴史の重み、正に奈良の都の歴史と共に今あるこの大宮という場所で活動されていることを、改めて実感して、友好クラブとして本当に一緒に活動できたことが、そして友好クラブであることの喜びを感じている次第でございます。

本日も皆様のテーブルで会話に花が咲きまして、共にお祝いできることが本当に喜んで私たち東京恵比寿ロータリークラブより15名で参りましたが、ともに喜ばせて頂いております。今後とも奈良大宮の皆様と共にロータリー活動そして東京でも友好クラブとしてお手伝いできることを考えてまいりたいと思います。本当に本日は45周年おめでとうございます。これからも皆様で祝福いたしましょう。それでは、私の挨拶の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。





Mini Sunrise Club 会長

Kathy Lum

My name is Kathy Lum, and I serve as the president of the Mini Sunrise Club. Thank you for inviting me to the 45th-anniversary celebration of Nara Omiya Rotary Club. Although I am of Japanese descent, I am unable to speak Japanese. However, I have a deep love for Japan.

One regret today is that I couldn't come to Japan with my fellow Rotarians, whom I have close relationships with.

Rotarians know no borders. Despite different languages, our hearts share a common bond.

Both Omiya RC and our club are dedicated to community service consistently. This is true for Rotarians worldwide.

Our club has conducted training in various regions, including Nepal, Nara, the Philippines, and others.

While our club may have a small number of members, our activities are incredibly impactful.

On behalf of the entire Mini Sunrise Club, we sincerely celebrate the 45th anniversary.

(訳)

私の名前は Kathy Lum と申します。ミニラニサンライズクラブの会長をつとめております。奈良大宮 RC の 45 周年の記念式典に呼んでいただきありがとうございます。

私は日本人のハーフですが、日本語を話すできません。ですが、日本が大好きです。今日ひとつ残念だった事は、仲の良いロータリアンと日本に来られなかった事でした。ロータリアンには国境がありません。

言葉は違えと気持ちはひとつ。

大宮 RC も当クラブも常に社会奉仕をしております。それは世界中のロータリアンも同じです。ネパールをはじめとして、奈良、フィリピン、他、様々な地域で当クラブは研修を行いました。我々のクラブは会員数こそ少ないですが、活動内容非常に濃い物となっております。

45 周年のお祝いをミニラニサンライズクラブ一同、心からお喜び申し上げます。

実行委員長挨拶



実行委員長
富川 悟

今年度 45 周年記念事業の実行委員長の富川でございます。ひと言ご挨拶申し上げます。

本日は中野ガバナー、仲川奈良市長始め多数のご来賓の皆様にご臨席賜りました事厚く御礼申し上げます。

私どものクラブは本日創立 45 周年を迎えました。現在会員 65 名が在籍しその年齢構成は、70 歳以上 17 名、60 歳 50 歳台 35 名、40 歳 30 歳台 13 名と大変バランスの良い、活動し易いクラブの姿になっていると思っております。その中で 45 周年の記念事業を企画実施させていただきました。周年事業は 5 年ごとに実施しており、その基本的テーマとして「学ぶ」「学び」を取り上げ青少年育成のためのプログラム、並びに社会奉仕事業として青少年を対象として実施してまいりました。35 周年では、奈良市三笠中学校で「労働に学ぶ」と云うタイトルでロータリアンによる出前授業や山本浩之氏による講演会等を行いました。

40 周年では、保育園児・幼稚園児を対象として「〇△□のふしぎ」と云うタイトルで実施しました。子供たちの成長過程において「遊び」はとても重要な意味をもっています。子供の「遊び」から「学び」につながるイベントとして、段ボールで作られた遊具で遊びの広場を提供しました。このイベントに奈良市内外の保育園・幼稚園から 2 日間で 3800 名以上が参加してくれました。

今回 45 周年では、先ほど報告させていただきましたが奈良女子大学附属中等教育学校とのコラボレーションで 2 つの事業を企画実施いたしました。

一つ目は 3 年生を対象とした事業で、信長の時代は人生 50 年と言われましたが今は時代も進化し人生 100 年時代と言われるようになりました。人生 100 年時代になると人々の働きとか生活とか生きていくための人生設計が大きく変わっていくのではないかと、変える必要があるのではないかと考えて「人生 100 年時代、君たちはどう生きる」と云うタイトルで生徒たちとディスカッションし考える場としました。

二つ目の事業として、地球温暖化が続く中災害をもたらす異常気象がこれから益々頻発すると予測されています。今後も地球上の自然災害の発生は避けられない状況にあると思われ「迫りくる気候危機！私たちがやるべきこと」と云うタイトルで正木明氏の講演を通じて災害にあっってしまったときの心構えや正しい行動に関する知識を学び、私たちの行動を考える機会としました。以上の事業を実施した結果良い成果を挙げられたものと確信しています。

最後になりますが、ご臨席賜りましたご来賓の皆様にご再度感謝申し上げます。ありがとうございました。



パストガバナー
北河原 公敬

皆様もビックリされたのではないかと思います。事前にはいただいていたプログラムではエンターテインメントショーと書いてあったので、どういう方が出てこられるのかと思いましたが、ピアノの方は別として、まさかうちのクラブの会長はじめメンバーが出てこられるとは思っていませんでした。初めて聞きましたが、クラブにこういう事のできる方がおいでになるのを心強く思いました。

改めまして本日は私共の45周年の式典並びに祝賀会に皆様方にご来会いただきまして本当にありがとうございました。

特にお忙しい中、山下知事様また仲川市長様、本当にありがとうございました。

また地区の中野ガバナーをはじめパストガバナーの皆様、そしてガバナー補佐の皆様、また県下各クラブの会長様、幹事様そして友好クラブの太宰府ロータリークラブ、東京恵比寿ロータリークラブ、遠くハワイのミリラニサンライズロータリークラブの皆様本当にありがとうございました。

45年という事でございますけれども、先ほどもおっしゃっていらしたように45年の中にはいろいろあったかと思えます。

しかしその都度、時の会長、幹事または会員の皆の努力で45年の時を積み重ねることができたのかと思っております。

次は50年という大きな節目の年を迎えるのですが、我々のクラブとしてはその50年に向かって、ロータリー活動は勿論、それぞれが精進を積み重ねて、素晴らしい50年を迎えたいと思っております。

私も近頃年を取ってきましたので用心しないと、その50年まで居れるかどうか分かりませんが、今日こうして皆様と共に私共のクラブの45周年をお祝いできたことを大変ありがたく思っております。

最後になりましたが、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして私のお礼のご挨拶とさせていただきます。

本当に本日は誠にありがとうございました。

あなたはこの「人生100年時代」に どのように生きていきますか？

講師：八嶋智人氏

場所：奈良女子大学 - 各講義室及び大講義室

■ 記念講演 & パネルディスカッション

「学 校にどのようなキャリア教育があったらよいか」を生徒たちが、学びの目的をあきらかにした提案を考え 発表し その内容について、高い専門性の仕事をしているロータリアンがコメントを行いました。その後、奈良市出身、同校卒業生であり俳優の八嶋智人氏を講師に迎え講演会を行いました。俳優という仕事はたくさんの方が関り 1つの作品が生まれる。それは映像にも映らない裏方さんも含め自分の仕事が成り立っている。自分自身は常にその事に感謝の気持ちを持ち続けて仕事をしている事。また、仕事は全力で手を抜かない事、なぜなら1つ1つの作品に対し視聴者は何かしら影響を受けるので、決して手を抜くことなく全力でやり切るようにしているとお話を受け、学生の皆さんの心にも深くその想いが心に刻まれ、その後のパネルディスカッションも質疑等大変盛り上がりました。



君たちはどう生きる

Rotary 奈良宮ロータリークラブ



記念事業報告

AIやロボット化の進展により、今の学生が就職する際には現在ある職業の半分くらいが無くなっている、又は形を変化させている事が想定されます。

これはロータリアンの生業においても同様と言えますが、職業の形は変わっても職業に対する理念は変わるものではないことから、社会人・職業人として何が必要であり、何を大切にすべきかという事をこれから日本の未来を担う青少年に伝え受け継いでいきます。

また、時代の変化に伴い、年代ギャップにより価値観が大きく変わっている事を我々ロータリアンも認識し、自分の価値観を押し付ける事なく、青少年の思いを理解し夢や希望を実現するために、一番大切な学生時代をどのように過ごすべきかを考えるきっかけとなる事業を目的とします。





奈良大宮ロータリークラブは2018年12月16日に、奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブを提唱しております。その奈良女子大学附属中等教育学校の生徒を対象に「労働に学ぶ」をテーマに職業講演及びパネルディスカッションを実施しました。また、同校は地震災害に関心が高い事から「地震防災記念講演」を行い、労働に学ぶと同様にパネルディスカッションを行いました。世界の気候変動、日本そして地元奈良における気候変動についての知識を得て、自ら考え行動できるきっかけを提供しました。また、防災備蓄として防災倉庫2基を寄贈致しました。



記念事業報告

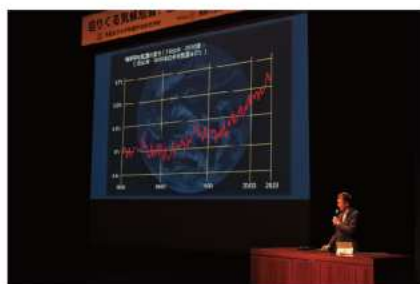
「迫りゆく気候危機！ 私たちがやるべきこと」

講師：正木明氏

場所：なら 100 年会館 大ホール

世界で起こっている気候変動について数値や写真で具体的事例を分かりやすく説明頂きました。また、奈良市のハザードマップや地震について身近な事例も取り入れ、私たち一人一人がその事に気付き、個人・企業・行政などの単位で何かアクションをしていく事の大切さを教えて頂きました。

パネルディスカッションでは、気候変動対策で学んだことに対し豊かな地球環境を守っていく上で、身近に出来るアクションや地震対策について活発な意見を討議できました。





インターアクトクラブ会長
芝崎 もも

この度は創立45周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。
2018年10月に創立された奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブも、ロータリークラブのみなさまのご支援のもと、昨年創立5周年を迎えることができました。
次の5年、10年に向けて、様々な活動に取り組んでいく所存です。今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

先日の創立45周年記念式典では、簡単ではありますが、本校インターアクトクラブ5年間の活動を紹介させていただきました。創立以来続けてきた小草(シャオツァオ)でのボランティア活動や、今年度、本校主催で開催されたアジアの高校生と国際問題について考えを深め合う

“AYF (Asian Youth Forum)” また今年度独自の取り組みである奈良公園でのドンダリの寄付活動や奈良県高校生議会への参加などについて発表させていただきました。来年度はより活動の幅を広げていきたいと考えています。

2024年11月には、本校がホスト校としてインターアクト地区大会が開催されます。初めてのホストとなるため、未熟な点が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。皆様が50周年を迎える際、10年前にインターアクトクラブを創立して良かったと思っただけのよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



式典

記念式典





式典

祝宴





式典





式典





足 跡

奈良大宮ロータリークラブ

創立 40年～45年の 足跡



奈良大宮ロータリークラブ第41～45代の歴代会長に
その年度の事業報告と、奈良大宮ロータリークラブへの想いについて
文章を寄せていただきました。



2019～2020
第41代会長
増井 義久



幹 事
倉田 智史

会長方針

「地域に必要なクラブになろう！」

Rotary



ロータリーは
世界をつなぐ

奉仕プロジェクト事業

- ・食育事業「弁当の日なら」 奈良市食育推進会議共同事業

国際事業

- ・チェンライプロジェクト
(アカ族子ども センスック寮集会室拡張改修及び図書室移設工事支援事業)

家族親睦

- ・クリスマスコンサート (金星さんご子息)

臨時事業

- ・お持たせ昼ごはん・大宮地区子ども食堂支援計画 (大宮地区)
- ・新型コロナ終息東大寺祈願勤行 (奈良地区北部のロータリーメンバー)

※後半は新型コロナウイルスの対応により中止事業※

- ・東大寺のお花見
- ・美保基地 (ブルーインパルス) 見学
- ・地区大会
- ・ホノルル国際大会

会員 12 名の入会

2019-20 年度ガバナー賞「人びとをつなぐ部門」と「行動する部門」の 2 部門受賞

2019-20 年度国際ロータリー賞「プラチナ賞」受賞





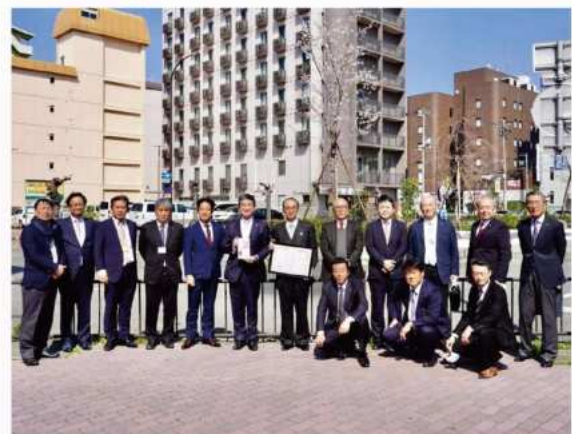
2020～2021
第42代会長
多田 実

本年度は45回の例会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、会員同士の親交を深める例会の開催が半分以下の25回となったことは誠に残念でした。


奉仕活動も新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受けましたが、職業奉仕活動と社会奉仕活動の協同奉仕事業として新大宮駅北側のロータリー整備事業として桜の樹木の植樹などによる修景設置活動、信号機の設置されていない横断歩道で歩行者が横断しようとしているときの自動車一旦停止運動とステッカーの配布などを行いました。また、青少年奉仕活動として発達障がい者の家族の集まりである「あおぞら倶楽部」そして、大宮小学校、佐保川小学校、佐保小学校に空気清浄機と接触感染を防止する

抗菌・抗ウイルステープを寄贈したところ、関係する皆さんから大変喜んで頂きました。そして、国際奉仕として当クラブの米山奨学生であったガルブジャ・プルナ・プルサッドさんを通じてネパールの中学校に教育環境向上の備品を寄贈しました。

以上のとおり、本年度は新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受け例会の開催は自粛を余儀なくされましたが、奉仕活動は各委員会が当初計画した奉仕活動を十分に達成できものと思っています。



近鉄新大宮駅北側ロータリー整備事業の贈呈式



2021～2022
第43代会長
中 大

私の年度では「ロータリーは品格」をスローガンに掲げ、ロータリークラブにしかない職業奉仕活動を重視した本来の活動に立ち戻りたいと考えておりました。しかし、残念ながらコロナウイルスの影響で19回の休会を余儀なくされ、十分な活動が出来なかったことは今も残念で仕方ありません。

そんな中でも、森山副会長にはテーマなしの情報集会を、野末職業奉仕委員長には年2回のクラブ討論会を開催していただき、メンバー各自が自分の職業について話をするのでお互いの職業をより深く知ることができ、各メンバーは皆の経験を各自の職業に生かしていく機会が出来たのではないかと思います。

弓場社会奉仕委員長は「障がいのある人に生業と働く希望を！」をテーマに、メンバーの多彩な職業の専門性を有効に活かし、本当に長期間にわたり、野菜作りからパンやケーキの調理にと、持続可能な施設のお手伝いをする事が出来ました。

清岡青少年委員長は、インターアクトとロータリアンとの交流をメインとし、北河原長老のご協力も得て「奈良の魅力・発信・発見・

体験ツアー」という今までにない活動を実施してくれました。インターアクト達はきっと奈良を大好きになってくれたと思います。

河野親睦委員長は年末にJWマリオットホテルで「まねだ聖子さんディナーショー」を企画してくれました。コロナ下で沈んだ空気の中、メンバーはもちろんご家族達にも大好評で楽しく元気一杯の家族親睦会になりました。残念でならないのは、委員長のお兄様による落語の観覧が出来なかったことです。コロナ下の一年間大変ではありましたが、会員の皆様のご協力を得ながら、そして中興幹事の絶大なバックアップの下、楽しい経験をさせて戴きました。ありがとうございました。



2022～2023
第44代会長
谷川 千代則

私が会長を務めさせていただいた2022～2023年度、国際ロータリーのテーマは「イマジン ロータリー」、2650地区のスローガンは「感動、感激、そして感謝」でした。コロナ禍でロータリー活動が十分にできていなかったこともあり、私の年度スローガンは「原点回帰と新たなチャレンジ」とさせていただき1年間取り組んでまいりました。特に前2年間はコロナで例会が半分しか開催されなかったため、ロータリー活動の基本である例会を開催しクラブ会員のコミュニケーション強化を第一に考えました。また、45年のクラブの歴史、伝統を大切にしながら、今後のいろいろな環境の変化に対応できるよう、少しずつでも新しいことができればクラブの前進になると考えました。例会の進行、プログラム、親睦、出席等各委員会で工夫していただき緊張感もあり、会員同士が楽しめる例会を目指しました。社会奉仕活動では継続事業以外に地区補助金事業として一般財団法人ライフエビデンスさまと協力しキッチンカーを作成し、障害を持つ方の自立とキャリアアップの援助に取り組みました。

職業奉仕では地元優良企業の佐藤薬品工業さまの工場見学と公共理念について講話いただきました。

青少年奉仕では未来を担う子供たちを対象に、J3に昇格された奈良クラブさまの協力を得て「わくわくサッカー教室を」を実施いたしました。

国際奉仕としては、メルボルン国際大会に会員6名、家族2名で出席しロータリー2650地区の皆さまとの懇親会にも出席しました。当該年度は規定審議会の決定に基づく、定款や細則の改定の年でもあり、定款細則検討委員会の皆さまにもお世話になりました。

今年45周年を迎え、記念事業・記念式典も会員皆さまの協力で良いものができたと思います。今後は50周年にむけて、新たな奉仕活動に取り組んだりするためにも会員組織を強化することが必要だと考えます。クラブ会員一丸となりより良いクラブづくりができることを祈念いたします。

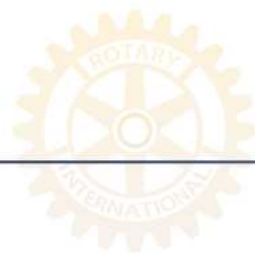


2023～2024
第45代会長
植村 将史

奈良大宮ロータリークラブ創立45周年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。令和6年辰年は波乱の幕開けとなりました。元旦早々から連続して災害・事故が発生しております。お亡くなりになられた方も多数あり、改めてご冥福をお祈り申し上げます。奈良大宮ロータリークラブは奈良RCを親クラブとして、45年前の正に今日1月23日に産声を上げ、同3月1日RI加盟承認、同5月15日に認証伝達式を行いました。創設時のチャーターメンバーは22。現在も飯田さん中條さん2名のチャーターメンバーに在籍していただき、例会にも参加いただいております。現在名誉会員3名を含め会員数66名で、最年長会員は平野さん94歳、最年少会員は中谷さん38歳、平均年齢は60.59歳と幅広い年齢層で構成されており、日々奉仕活動に力をいれているところです。2018-2019年度には、40周年記念として奈良女子大学附属中等教育学校にインターアクトクラブを設立いたしました。クラブ45周年記念事業といたしましては、昨年9月7日奈良女子大学にて俳優の八嶋智人さんを招き「人生100年時代 君たち

はどう生きる」をテーマにした講演会・パネルディスカッション、同11月9日には、奈良100年会館で地区防災倉庫の設置にちなんで、気象予報士、防災士の正木明さんを招き「迫りくる気象危機・私たちがやるべきこと」をテーマにした講演会・パネルディスカッションを開催いたしました。

奈良大宮ロータリークラブは次の50周年に向けて躍進していく所存でございます。本年度の会長方針スローガンは「温故知新 リポーン」でございます。今ロータリーは時代に即して変わらなければならないとの声を耳にします。変えるべきことには勇気をもって挑戦しなければなりません。一方では、変えてはならないことは絶対に守り続けなければなりません。昨今は変えるべきことばかりが取り上げられる傾向がありますが、守り続けなければならないことのほうが多いように感じております。変えてはならないことを守りつつ、次の世代に向け進んでいきたいと思っております。皆様方に置かれましては、引き続きご指導お鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



45周年記念事業組織表

会長：植村 将史 幹事：平方 貴之
会長エレクト：宮西 正伸 幹事：門脇 伸幸

実行委員会

実行委員長：富川 悟
副実行委員長：市田 富久夫、弓場 裕史、谷川 千代則
会計：多田 実
委員：清岡 義教、中奥 雅巳、鈴木 讓

記念事業部会

部会長：清岡 義教
副部会長：山口 尚紀
部員：飯田 二昭、楠下 重郎、楠原 忠夫、中嶋 大、藤井 正勝
金星 昇、小西 敏文、武中 洋勝、堀内 真治、森山 斗福
南谷 正仁、成田 和哉、城田 真平、中谷 圭佑、福田 順

記念式典部会

部会長：中奥 雅巳
副部会長：吉田 英正
部員：中條 章夫、平野 貞治、小林 一士、北河原 公敬
矢追 家麻呂、武藤 廣茂、倉田 智史、野崎 隆男
辻本 和弘、河野 里志、川端 昇、辻本 和久、岡崎 真人
井口 善弘



記念祝賀部会

部 会 長 : 中奥 雅巳

副 部 会 長 : 西本 隆一

部 員 : 潮田 悦男、増井 義久、大塩 栄作、水野 憲治、森山 憲克
為則 泰二、塚本 勝、稲田 正剛、志茂 志津代、田村 英樹
松岡 浩治、金田 智仁、古尾 憲司、岡 利至、川邊 経恭



記念誌・記録部会

部 会 長 : 鈴木 譲

副 部 会 長 : 向井 克隆

部 員 : 高野 治、宮坂 勝紀、植原 賢治、松井 和弘



会計部会

部 会 長 : 多田 実

副 部 会 長 : 野末 勝宏



編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響力も大幅に減少し、平常に戻りつつある今年 奈良大宮ロータリークラブは創立 45 周年の節目を迎え 50 周年に向けての前哨戦として記念事業並びに記念式典・祝賀会を成功裏に無事終了することが出来ました。会員皆様のご協力の賜物と感謝しております。今後大きな目標に向かって、活動を活発化させ、地域に愛されるクラブとなるように、クラブ全員で取り組みたいと思います。

記念誌の発行にあたり、ご協力いただきました皆様に 厚く御礼申し上げます。

奈良大宮ロータリークラブ

創立 45 周年記念誌

2024 年 5 月 31 日

編 集	創立 45 周年記念実行委員会 記念誌・記録部会
発 行 印 刷	奈良大宮ロータリークラブ 株式会社トミカラー